社会福祉法人　共栄福祉会　桜が丘保育園
令和4年度自己評価

1　施設・事業所の概要

①事業者名：　社会福祉法人　共栄福祉会
②事業所名：　桜が丘保育園
③所在地：　諫早市貝津町877番地1
④電話番号：　0957-26-2076
⑤福祉サービスの種別：　保育所

2　保育の計画性

【目標・取り組み】
・生きる力を育む保育　　・
・一人ひとりが幸せと実感できる保育
・温かい地域との共生
・輝き続ける保育士
（調理）
コロナ禍でも楽しく出来る食育

【よく出来たこと】
（もも）
・子どもの成長・発達に合わせた食事や睡眠等、生活リズムを整えられるよう努めた。
・こまめに健康観察を行い保護者と情報共有できるようにした。
・職員間で仕事の役割分担を行い、日々振り返りを通して改善に努めた。（子ども優先の生活リズムを基に）
（すみれ）
・コロナへの対応もスムーズになってきて行事等の計画も立てやすくなった。
（さくら）
・固定された保育の行い方に捉われず、子ども主体とした活動を提供できた。
・「とりあえず挑戦してみよう！」と試行錯誤しながら保育を行うことができた。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・子どもたちが今何をしたいか、挑戦したいかに耳を傾け、遊びが充実するように環境に工夫を行った。
・させられている、叱られるからするではなく、自然に苦手なことにもチャレンジできる雰囲気や声掛けをしていくこと、環境を考えていくことを努力した。
・個人対応が必要な時は、一時保育室を大いに活用して、お昼寝の部屋に使ったり、物を投げて落ち着きがないときは、一時保育室で様子を見たりして過ごした。
・就学への見通しを持てるように小学校との交流を密にして、共有をはかった。
（調理）
・クラスに合わせた内容で取り組めた。

・コロナ禍でも工夫をし食育を行えた。

【課題に思ったこと】
（もも）
・成長・発達に合わせた食事や睡眠等、生活リズムを整えられるよう努めた。
・日々の生活や業務に追われてしまうことがあり、子どもの思いに寄り添えないこともあった。
・子どもたち一人一人の発育に合わせて対応する中で“〇〇できるようになってほしい”と保育者の願いが強く、子どもの思いや要求を見逃してしまうこともあったと思う。
（すみれ）
・未満児クラスは、こちらがある程度は誘導しないといけない部分もある為、いかに子どもの主体性を組みとってあげるべきか悩む所もあった。
（さくら）
・異年齢での交流する機会をなかなかつくれなかった。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・支援が必要な子どもに対しての行事の在り方について※昨年度の運動会やライフパフォーマンスでは職員の配置、保護者の対応に悩んだ。
・地域との関わりが少なかった。
（調理）
・食育実践前に意欲のわくような説明を工夫したい。
・野菜の栽培では経過観察など子どもたちが関心をもてる助言を工夫したい

3　保育のあり方・子どもへの対応

【次年度への目標・取り組み】
（もも）
・個々の成長に合わせた生活環境を整え、子どもが安心してすごせるようにする。
・保育者との愛着関係を通して、まわりに目を向け身近なものへの興味や関心、探索活動が行えるようにする。
（すみれ）
・子どもたちの主体性の尊重。
（さくら）
・一人ひとりに応じた適切な対応・支援をする。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・すぐに叱ること、禁止的用語は使用しないようにし（いいかげんにしなさい、だめなど）、子どもに考えてもらえるような言葉かけを行う努力をした。（こうやってみたらどう？など）また、上手く言えない子どもにはわかりやすく説明して関わることができた。
・お集まりに参加できない子どもに対しての無理に参加させるのではなく、近くで絵本を読みながら聞こえてくる歌を一緒に歌ったりして「参加している」ことを認める。
・子ども同士で遊びのルールやトラブルを解決していき、間違っていたり、遠まわしだとしても見守る。

・子どもたちがお互いに話し合い、考え、行動できるように、しっかりと話し合いが出来る環境を
　整える。また偏った見方をせず、子どもの話を傾聴する。
・トラブルに関してすぐに保育者が仲介するのではなく、まず自分たちで解決する力を育むよう見守る。
（調理）
・食事提供時の個々の対応を見直す（偏食対応など）

【よく出来たこと】
（もも）
・成長・発達が著しい年齢でもあり、思いを伝える方法も未熟なため、表情や行動から子どもの思いを
　読み取り、やさしく話しかけるなど、言葉のやりとりや表情豊かに対応するようにした。
・危険箇所を事前に確認するとともに、生活の中でも子どもの視点で生活しやすい環境が整えられるようにした。
・一人一人に合わせて言葉かけ等丁寧に行い、ふれあう時間を作れるようにした。
（すみれ）
・月１で未満児クラスで集まりクラスの状況や行動についての話し合いを行えたので、情報の共有ができた。
・未満児クラス関係なく忙しそうな時や人数が足りない時は他のクラスに手伝いにいったりと協力しあう事ができた。
・お腹が空いた子から順に給食が食べられるように配置した。遊びたい子は長く遊べる。
（さくら）
・一人で挑戦して取り組む場面をたくさんつくる。子どもの意欲や自立にも繋がった。
・クラス職員で保育の内容や環境等その都度こまめに話し合う機会をつくり実施するようにした。
・月１回未満児会議の中で他のクラスの良い部分を吸収したり、クラスのことを発信するための機会が
　保育を見直したり、改善するきっかけになった。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・無理強いをしないことで、お集まりなどにも友達と一緒に参加できるようになったこと。
・子どもの目線にあわせて話を聞き、トラブルがあった際も本人だけではなく、周りに聞いて
　解決策を一緒に考えることができた。
・子どもたちなりに考えたルールを尊重したことで、自分たちで約束を守って遊べるようになった。
（調理）
・個別対応をすることで食べられるものが増えたり変化が見られたこと。

【課題と思ったこと】
（もも）
・マスクを着用した状態で関わることがほとんどだったため、子どもたちの発語に影響がでてしまった
　のではないかと感じた。
※一人一人に合わせて言葉かけを行こなうとともにスキンシップをとるなど子どもたちと関わる時間を
　作っていても、口の動きを含めた表現を見せることができなかった。
・子どものやる気よりも先に保育者が援助してしまうことがあったので、時間がかかっても見守りが
　必要だったように感じた。
（すみれ）
・人数制限での給食だったので、食べたくても食べれない子もいた。

（さくら）
・個別対応の難しさを感じた。（かかわり方や言葉かけの仕方等）イヤイヤ期の中で
　どのようなかかわり・支援が適切なのか悩むことがあった。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・保育士の共通理解が難しい。（ルールなど）
・子どもたちが自分たちで話し合う機会を設け、少数派の意見も保育者自身がしっかりと受け入れ、フォローをしていく必要があった。
・支援が必要な子どもを中心とした見方をしていたので、周りの子どもへの対応・配慮が難しかった。
（調理）
・テーブルマナーの伝え方・タイミングを考える。

4　保護者への対応

【目標・取り組み】
（もも）
・安心して園生活をすごせるよう園だけでなく、家庭での様子も確認しながら情報共有できるようにした。
・子ども一人一人の成長・発達をこまめに伝え、共に喜び合い次への成長につながるように話をした。
（すみれ）
・コロナ禍での動画の配信を行った。
（さくら）
・些細な出来事も保護者の方に伝え、一緒になって成長を感じる。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・口頭で伝える際には、丁寧な言葉で誤解のないようにする。
・玄関のボードでお知らせをしたり、LINEなどで園の様子や連絡事項を伝える。
・行事や子どもたちの日ごろの様子がよりわかりやすくなるように、写真や動画で様子を配信する。
・施設利用の子どもに対して指導計画書（諫早バージョン）を作成し、保護者や施設と共有する書類を作成。
・面談で園での様子、家庭の様子を話し、保護者と共感、共有して成長を見守る。
・気になる子に対しては、こまめな連絡を行い、保護者との共通理解をする。
（調理）
・レシピの配信を行う。

【よく出来たこと】
（もも）
・子どもの成長を伝え合う中で、保護者の願いをもとに子どもたちの発達につながるよう、生活空間を
　整えることができたと思う。
・ノートやLINEだけでなく送迎の際に子どもの様子を伝えるなど積極的にコミュニケーションをとり、
　子どもたちが安心してすごせるようにした。その中で、子どもたちの変化にとても気づけるよう努めた。
・保護者の方の仕事を考慮して無理なく対応できるよう、子どもの体調の変化に関する連絡を行った。
（すみれ）
・日頃の様子を写真や動画をとってLINEで送っていたので、遊んでいる姿などを見れて喜ばれていた。

・今年度は人数制限なしの行事開催で祖父母の方も見にこれて喜んで頂けた。
（さくら）
・活動写真や、午睡時の写真等喜んで頂けた。
・直接お話する機会があれば何げないことも伝えるようにした。積み重ねていく中で家庭での姿や子どもの内面的な部分を知ることもできた。
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・面談を行い、保護者の悩みやこれからの取り組みや課題について話し合うことができた。
・援助が必要と感じる子どもに対して、保護者に少しでも園の様子を伝えたり、保健師へ協力やアドバイスを求める努力をした。
・担任だけではなく、他の職員も頑張っている子どもの様子を保護者に伝え、色んな保育士が一緒になって成長を見守ることができている。
・連絡事項や園での様子を細かくお知らせができた。
（調理）
・保護者や子どもたちからのリクエストレシピを公開し、興味をもってもらえたこと。

【課題と思ったこと】
（もも）
・感染性の病気が発生するとクラス全体に広がる為、体調の変化を連絡するタイミングに悩みました。
・体調不良でお休みした翌日、体調が回復していない状態で登園し、体調不良を繰り返し、保護者の方に迎えに来てもらうなど悪循環になることもあった。
⇒病児保育の活用をお勧めしていきたい。
・医師の診断も小児科で違うため、戸惑うこともあったが、受け入れなければならないことに葛藤の思いもあった。（子どもがきつそうにしている様子が見られる等、子ども中心に考えた時）
（すみれ）
・ペーパーレスになり、LINEアカウントからの情報を見て頂けなかったり伝達不足を感じる事もあった。
⇒同じ情報でも、作業が発生してもお伝えしたい内容はプリントの方が良いのだろうか。
（さくら）
・お迎え時間が混む時間帯は直接お話できないこともあった。（職員配置の点で、玄関対応が難しかった）
（たんぽぽ・ひまわり・ゆり）
・子どものケガを直接口頭で伝えることができなかった。（LINEでは報告した）
・電話対応が上手くいかずに、行き違いになってしまうこともあったのでしっかり確認する。
・指導計画の作成は行えたが、各施設との共有や意見交換、役割などの話し合いができなかった。
・援助が必要な子どもに対しての保護者に、親身になって寄り添えたか。
・発熱時の連絡対応の統一が必要であった。
・保護者の人が不安にならないような支援の進め方が必要であった。
（調理）
・昨年はレシピが１回のみの配信のため、投稿数を増やす。
・食事についてのアンケート等をとり、子ども達や保護者の声を聞く。

5　環境設定・整備

①令和4年4月18日　Googleストリートビュー撮影・公開
目的：　園舎・園庭・畑案内画像撮影の為

②令和4年8月15日　天井埋め込みエアコン3台の交換
目的：　1階もも組・1階さくら組・2階たんぽぽ組のエアコンを交換。熱中症の予防・節電・空間除菌

③令和4年9月13日　保育室（すみれ等）内部建具修理工事
目的：　保育室内のケガ防止

④令和4年9月28日　フレーベルランド（園庭遊具）修理工事
目的：　傷んでいた箇所を補修

⑤令和4年10月7日　2階テラス、ゴムマット撤去・人工芝生工事
目的：　2階テラスでのケガ防止、遮熱効果

⑥令和4年11月21日　SLマン(園庭遊具）修理工事
目的：　傷んでいた箇所を補修・交換

⑦令和4年12月17日　調理室IHコンロ交換工事
目的：　壊れたIHコンロの交換

⑧令和5年2月24日　大型空気清浄機2台購入
目的：　感染症予防の為

⑨令和5年3月下旬　調理室荷台カート・大型炊飯ジャー・主食用食器購入
目的：　次年度の主食提供の為

⑩令和5年3月31日　スチームコンロ交換工事
目的：　既存のスチームコンロが壊れた為